

青野沢川河川災害復旧工事（その1）

2016年11月 工事だより

工期：2014年12月17日 ～ 2018年3月23日

工期が1年延びました

工事進捗状況

| 工種 | 進捗率 | 備考 |
|----------|--------|------------|
| 河川土工 | 52.4 % | 掘削、盛土 |
| 護岸工 | 16.1 % | 基礎工、法覆護岸他 |
| 排水工 | 0.0 % | 水路、管路、樹他 |
| 付属構造物工 | 26.1 % | 階段他 |
| 構造物撤去工 | 61.7 % | 無筋コン、鉄筋コン |
| 地盤改良工 | 27.0 % | 地盤改良 |
| 樋門・樋管本体工 | 33.5 % | 樋門・樋管4基 |
| 鋼橋上部 | 1.3 % | 鋼単純非合成箱桁橋他 |
| 橋梁下部 | 0.0 % | 橋台2基、場所打ち杭 |
| 構造物撤去工 | 79.6 % | 旧橋撤去 |
| 仮設工 | 42.4 % | 工事用道路、水替え他 |

今月のトピックス

土木用語に見られる身近な生き物～鳶（とび）～

高い場所で、華麗に動き回る職人「鳶工」。彼らなくして我々は、道路や橋の建設、高圧電線を設置することが出来ません。「鳶工」は、現場における1軍選手の一人なのです。

その由来は、江戸時代の「火消し」にさかのぼります。屋根から屋根へと飛び移り、ハシゴに昇って掛け声をかけている様子が、鳶に似ていることから名付けられたといわれています。体力、運動能力に優れている「鳶工」でなければ、高く危険な場所での、重量物の設置、仲間の為の足場を組み立てることはできないのです。

ちなみに、ちょっとだめっ子の「鳶工」は「カラス」と揶揄されることがあるそうです。



出典：土木学会「どぼくのこぼし」

施工状況



全景写真

左岸側は、河川内部の護岸基礎および法覆護岸工事を進めています。右岸側は引き続き盛土のプレロード中です。



旧港橋撤去



基礎ブロック据付け



現場打ち基礎コンクリート



法覆護岸工（根入部）



10月は、河川の中に埋まってしまう部分の工事が中心でした。最終的には見えなくなってしまうのですが、堤防を支える重要な部分となります。

新しい工事担当者の紹介



工事担当 藤野 宏英

北海道出身の45歳です。先月までは、福島県でトンネル工事に従事していました。

本工事では、港橋の施工を担当します。支間長54mと大きな橋の工事ですので、安全第一で頑張りたいと思います。宜しくお願いします。



工事担当 長谷川 雅也

埼玉県出身の22歳、新入社員1年目です。先月までは、福井県でトンネル工事に従事していました。

私は、幼い頃からサッカーをしています。サッカーで培った体力で、精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします！

連絡先

事務所 住所：気仙沼市唐桑町上山240-5

電話：0226-31-3201 FAX：0226-31-3510

ホームページ： <https://www.takenaka-doboku.co.jp/aonosawa/index.html>

人と地球の架け橋に



竹中土木